

米金融システム不安再燃で揺れる米国市場



シニア・ストラテジスト 石黒英之

ポイント① 米金融システム不安が再燃

米地銀の預金流出が明らかとなり、米金融システム不安が再燃したことを受けて、25日の米国市場では株安・債券高の動きとなりました（右上図）。

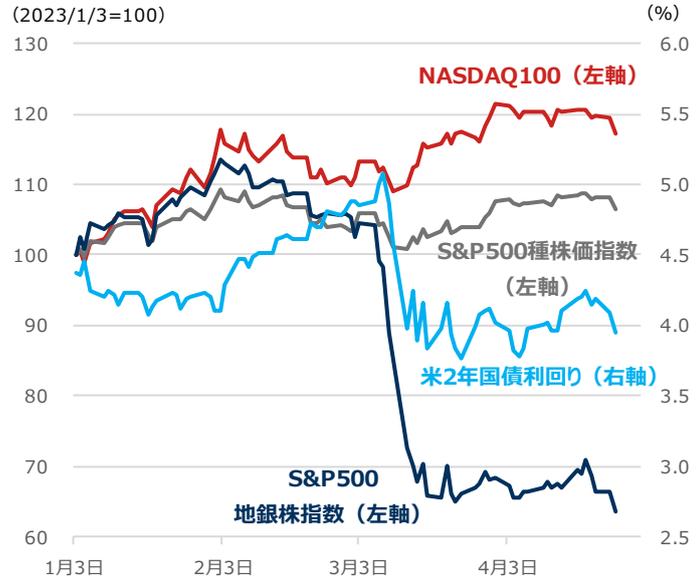
24日に1-3月期決算を発表した米中堅銀行のファースト・リパブリック・バンクが昨年末から今年3月末の間で4割を超える預金が流出したことが判明し、同行株は25日、前営業日比49%安と急落しました。これを受けて他の米地銀株にも売りが波及し、S&P500地銀株指数が年初来安値を更新するなど、米金融システムを巡る不安が再燃した格好です。米金融政策の影響を受けやすい米2年国債利回りも同日、前営業日比0.13%低下（価格は上昇）しており、米金融システム不安の再燃でFRB（米連邦準備制度理事会）の高金利政策の長期化観測は後退しつつあるようです（同図）。

ポイント② FRBが利上げ停止姿勢示すかが焦点

3月に米金融機関が相次いで破綻したことをきっかけに、米小規模商業銀行から2週間で2,000億米ドルを超える預金が流出するなど、米金融機関の経営の先行き不透明感が強まっています（右下図）。米当局の対応もあり、足元で大規模な預金流出には歯止めがかかっていますが、今回のファースト・リパブリック・バンクのように個別で問題を抱えている金融機関が今後も出てくる可能性には注意が必要といえます。

預金流出によって金融機関の貸出姿勢が厳しくなると、他の業界で資金繰り懸念が高まることが想定されます。こうした点から考えると5月のFOMC（米連邦公開市場委員会）を最後にFRBが利上げを停止する姿勢を示すかが、米国市場の落ち着きを探る上で焦点となります。

米主要株価指数と米2年国債利回り



期間：2023年1月3日～2023年4月25日、日次
（出所）Bloombergより野村アセットマネジメント作成

米小規模商業銀行の預金残高と同前週比増減



期間：2022年1月5日～2023年4月12日、週次
（出所）Bloombergより野村アセットマネジメント作成

個別銘柄の記載は、特定銘柄の売買などの推奨、また価格の上昇や下落を示唆するものではありません。

*当資料は、一部個人の見解を含み、会社としての統一見解ではないものもあります。

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡します投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。